

目次

- ① 怪我や事故の予防
- ② ルール・マナーを守る
- ③ 犯罪・トラブルの予防
- ④ **ハラスメントをしない**
- ⑤ 建学の精神に反する行為について

目次

・ハラスメントをしない

ハラスメントとは？

・ハラスメントとは

言葉や態度で、他者に精神的苦痛を感じさせたり、不快な思いをさせたりする行為
自らの優位な地位や権限を利用して、相手の意に反して次などを行うこと

- ・性的な性質の言動などをする
- ・嫌がらせ、いじめ、無視、暴力など心身に苦痛を与える
- ・飲酒を強要する
- ・学修上の妨害、機会・条件・評価等での差別をする
- ・性別によって社会的な役割を決めつける など

これらの行為は**いずれも重大な人権侵害である**

ハラスメントをしない

ハラスメントとは、言葉や態度で、他者に精神的苦痛を感じさせたり、不快な思いをさせたりする行為。大学では、教職員が学生に対して、あるいは学生同士などで、ハラスメントが生じるときがある。

自らの優位な地位や権限を利用して、相手の意に反して次などを行うこと。

- ・性的な性質の言動などをする。
- ・嫌がらせ、いじめ、無視、暴力など心身に苦痛を与える。
- ・飲酒を強要する。
- ・学修上の妨害、機会・条件・評価等での差別をする。
- ・性別によって社会的な役割を決めつける など。

※これらの行為はいずれも重大な人権侵害である。

アルコールハラスメントとは？

◆飲酒の際、命にかかわるこれらの危険な行為を絶対しない。見たら止める勇気をもって◆

- ・飲酒を強要する
 - ・人にかからむなど、酔って迷惑行為をする
 - ・イッキ飲みをさせる
 - ・故意に酔いつぶす
 - ・飲めない人への配慮を欠く（無理に飲ませるなど）
 - ・未成年に飲酒させるために、身分証明書を不正使用する
 - ・車の運転者に飲酒させる
- 酔いつぶれた人は、介抱し、保護すること
- ・限界以上に飲ませない、飲まないよう心がける
 - ・「吐けば大丈夫」という考え方は非常に危険
 - ・酔いつぶれた人が出たら救急通報するなどの対処を

ハラスメントをしない

飲酒の際、命にかかわるこれらの危険な行為を絶対しない。見たら勇気をもって止めること。

- ・飲酒を強要する・・・上下関係・部の伝統・集団によるはやしたて・罰ゲームなどにより心理的な圧力をかけ、飲まざるをえない状況に追い込むこと。
- ・迷惑行為をする・・・酔ってからむこと、悪ふざけ、暴言・暴力、セクハラ、その他のひんしゆく行為。
- ・イッキ飲みをさせる・・・場を盛り上げるために、イッキ飲みや早飲み競争などをさせる。
- ・故意に酔いつぶす・・・酔いつぶすことを意図して飲酒させるのは傷害行為にあたる。
- ・飲めない人への配慮を欠く・・・未成年や本人の体質・意向を無視して飲酒させる、飲酒の場に酒類以外の飲み物を用意しない、飲めないことをからかったり侮辱するなどの行為。
- ・身分証明書を不正使用する・・・飲食店で身分証明書の提示を求められた際、未成年者のために成人の身分証明書を不正使用しないこと。
- ・車の運転者に飲酒させる・・・飲酒した人はもちろん、勧めた人も、同乗者も法的に罰せられる。飲酒運転が惨劇を生み出すことを理解すること。

※酔いつぶれた人が出た場合、介抱し、保護する・・・限界以上に飲ませない、飲まないよう心がけること。飲んでも「吐けば大丈夫」という考え方は非常に危険。酔いつぶれた人が出たら、決して放ったらかしにはせずに救急通報するなどの対処を（参考P13「20歳未満の飲酒は違法行為」）。

SOGIハラスメントとは？

◆ SOGI（ソジ）とは性の多様性を表す言葉で、全ての性的指向と性自認を包括する概念◆

- SOGIハラスメントとは、多様な性のあり方に対する差別的な言動や嘲笑・侮蔑、いじめや暴力、無視などにより、精神的・肉体的な嫌がらせを与えること
- 望まない性別での生活の強要などにより、差別を受けて社会生活上の不利益を被ることも該当する
- 悪意の有無に関係なく、誰かのSOGIについて許可なく公表する「アウトティング」は、ときにはその人の命をも奪うことになる危険な行為である

性の多様性についての本学の基本指針

本学は、人間の多様性を尊重することのできる豊かな人間性を育む大学として、「性の多様性についての基本方針」を以下のとおり定め、誰もが安心して過ごせるキャンパス環境の実現に努めます。

- (1) 性自認や性的指向にかかわる諸決定は、個人の意思と選択を尊重します。
- (2) 教育・研究上あるいは社会通念上必要のない場合は、性別の確認や性別による区別は行いません。
- (3) 多様な性のあり方が尊重される環境づくりに努めます。
- (4) 性自認や性的指向などにかかわる性の多様性の尊重を促進する啓発を行います。
- (5) 性の多様性にかかわる個人情報の保護および守秘義務の遵守を徹底します。

*2020年12月策定

ハラスメントをしない

●SOGI=ソジとは、Sexual Orientation and Gender Identivityの頭文字を並べた言葉で、性の多様性を表す言葉として、全ての性的指向と性自認を包括する概念である。SOGIハラスメントとは、多様な性のあり方についての差別的な言動や嘲笑・侮蔑、いじめや暴力、無視などにより、精神的・肉体的な嫌がらせを受けることである。また、望まない性別での生活の強要、などにより、差別を受けて社会生活上の不利益を被ることもそれにあたる。なお、悪意の有無に関係なく、誰かのSOGIについて許可なく公表することをアウトティングと言う。アウトティングはハラスメントやいじめなどにつながる行為で、ときにはその人の命をも奪うことになる危険な行為であることを忘れないように。

●性の多様性についての本学の基本指針 *2020年12月策定

本学は、人間の多様性を尊重することのできる豊かな人間性を育む大学として、「性の多様性についての基本方針」を以下のとおり定め、誰もが安心して過ごせるキャンパス環境の実現に努めます。

- (1) 性自認や性的指向にかかわる諸決定は、個人の意思と選択を尊重します。
- (2) 教育・研究上あるいは社会通念上必要のない場合は、性別の確認や性別による区別は行いません。
- (3) 多様な性のあり方が尊重される環境づくりに努めます。
- (4) 性自認や性的指向などにかかわる性の多様性の尊重を促進する啓発を行います。
- (5) 性の多様性にかかわる個人情報の保護および守秘義務の遵守を徹底します。

ハラスメント防止のために

・ハラスメントをしないために、次のことなどを考える

- ・自分は良くとも、相手はそうでないこともある
- ・自分の言葉や行いを省みる
- ・弱い立場の人の気持ちを思いやる
- ・加害者は本学の学則等により懲戒処分の対象とする

・ハラスメントの被害にあったら

- ・嫌なことは止めるよう、相手にはっきりと示す
- ・すぐに他者へ相談をする
- ・被害を受けたら、記録をつけておく
- ・ハラスメントかどうかは、自身で判断する

・ハラスメントを目撃したら

- ・すぐに担任の先生や、学生支援センターに相談してください

ハラスメントをしない

●ハラスメントをしないために、次のことなどを考える。

・相手の立場になって考える…人間関係は、社会生活にとって最も重要なものです。人間関係を良好に維持するには、相手の立場になって考えることが必要。

・自分の言葉や行いを省みる…自分の言葉や行いを省みることが大切。あなたの言葉や態度を不快に感じている人がいるかも知れない。

・弱い立場の人の気持ちを思いやる…「嫌だ。やめてほしい。」と言えない弱い立場の人の気持ちを思いやること。まして、地位や権力を利用した嫌がらせは許せるものではない。

・加害者は懲戒の対象…もし、ハラスメントが起き、調査委員会が調査した結果、加害事実が確認された場合、加害者は本学の学則等により懲戒処分の対象となる。

*悪意の有無にかかわらず、ハラスメント、いじめを引き起こしてしまうこともある。そうはならないよう、相手の立場を思いやることを忘れないで。また、自分自身は大丈夫なことであっても、相手にとってはそうではないことがあることを覚えておくこと。

●ハラスメント、いじめの被害にあったら

・自分の態度をはっきり示すことが大切…あなたがハラスメントを受けたと感じたら、その行為が不快であること、すぐに止めるようにと、相手に直接、はっきりと伝える。

・すぐに他者へ相談を…意思表示をしても効果がない、意思表示をしたくてもできない、といった場合は、担任の先生や学生支援センターなどに相談する。

・記録をつける…あなたが受けた被害を正確に伝えるには、被害を受けた日時、場所、状況、目撃者などを詳細に書き留めて記録に残しておく。

・あなた自身で判断を…ハラスメントに当たるか否かは、他人の判断ではなく、あなた自身がどう感じたか、あなた自身の判断が大切。我慢や放置したりせず、「これはなかったことにする」ということにはしないように。

*ハラスメント、いじめに直接手を下していなくとも、傍観していれば、いじめに加担したのと同じこと。目撃した場合は、担任の先生もしくは学生支援センターに相談すること。